

## ～ 永年勤続表彰者のことば ～



謝辞 看護部長 川本かよ子

本日、松山市民病院創立 60 周年という佳き日にあたり、このような永年勤続の表彰を賜りましたことは、身にあまる光栄でございます。表彰者を代表しまして、厚くお礼を申し上げます。

思い起こせばこの病院との出会いは、看護学校時代に実習生として来たことです。そして昭和 52 年に就職し、気がつけば 39 年にもわたり、仕事を続けてまいりました。入職時の配属は整形外科と産婦人科の混合病棟で病床数が 72 床という大きな病棟でした。出産があれば待機している助産婦と共に看護婦も立ち会いをし、授乳時間にはベビー室にも入っていました。

今の新人教育システムとは大きく異なり、諸先輩方のする

ことを見て、真似をして、口頭で指示を受け、早くから一人で色々なことを考えて実践した時代でした。時間のマネジメントは 1 年目に身についたように思います。

まだ看護婦と言っていた時代で、今の看護師という呼び名に代わったのは



2001 年のことです。時代が変わりワーク・ライフ・バランスと仕事を続けられる環境が求められ、子育て支援も充実し、随分と良い環境になり、看護師の定着率も上がっております。

病院の沿革を見るとわかりますように増改築が繰り返されてまいりました。今回は特に、スタッフの要望が随所に活かされ、病院がきれいになり、利便性が高まり、病棟の設備も統一され、患者さんの安全・安楽を第一に考えた癒しの取り組みもたくさんあります。退職された方々、長年の患者さん、学校関係の方など多方面からお褒めの言葉を頂けることが一番うれしく思います。

国の施策が次々と展開され、医療体制が大きく変わろうとしております。看護の実践の場にもさまざまに影響してまいりますが、多くの職種、異なる年齢の人たちと協働し、感謝の気持ちを大切に、思いやりを持ち、結束力で病院運営に参画してまいりたいと思います。

わたくしは 6 代目の看護部長として、今、院長先生はじめ、皆さまに支えられ、この記念すべき 60 周年に在籍できることに感謝しております。また、60 年という歴史の中で、病院に関わってこられた諸先輩方には深く敬意を表したいと思っております。今回の表彰を胸に留め、今まで以上に病院のために尽くしたいと思っておりますので、変わりないご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

薬剤部 副部長 山田俊乃

永年勤続者表彰をいただきありがとうございました。式典の際には、懐かしい写真を拝見することができ、市民病院の薬局に入局した当時のことを思い出しました。私は、昭和 55 (1980) 年 4 月 7 日に入局しました。当時、薬剤師国家試験は 4 月の初めにあり、試験が終わって引越しを済ませたの社会人 1 日目でした。あれから 36 年、地域住民のための医療を行うことを理念に掲げて大きく発展した市民病院で働けていることは、とても光栄なことだと思います。今後の市民病院の発展に、残り少ない時間ではありますが、貢献できればと思っております。

医療事務部 会計課長 東方淳子

この度病院創立 60 周年を迎え、永年勤続者表彰をいただきありがとうございました。学生の頃より医療に興味があり、昭和 55 年、あこがれの医療事務になりました。最初は外来に配属され、日々患者さんの対応や業務に追われ、失敗もあり幾度も涙しました。その中で一緒に仕事をしていた看護師さん、諸先輩方に、世間知らずの私を公私ともにご指導いただき、成長することができました。現在、増築や電子カルテの導入等、病院の環境はあの頃とは大きく変わりましたが、今後も後輩の指導に努め、患者さんのための病院を目指し貢献していきたいと思っております。

放射線室 副技師長 藤原正志

このたび病院創立 60 周年記念式典において、永年勤続者表彰の場を頂戴しましたこと誠にありがたく、大変光栄に思います。昭和 60 (1985) 年に入職し、31 年。いろいろな方々に助けられ、今日まで職務に従事できていますことに感謝し、職員の皆様方にお礼申し上げます。これからも、「市民のための市民病院」の職員として、誠実に職務を遂行していきたいと思っております。永年勤続者表彰本当にありがとうございました。

臨床検査室 課長 池田陽一

この度は永年勤続者表彰を頂戴しましてありがとうございます。30 年前、夢と希望と少しの不安を抱いて、臨床検査室に配属となりました。改めて振り返ると、医療事情が目まぐるしく変化中、多くの困難や苦勞に直面しましたが、病院・部署のためにと考え、僅かながら力を発揮できたように思います。スキー仲間・野球仲間にも恵まれ、繋がりも持つことができました。これも諸先輩方と同僚の皆様のご指導・ご協力があつたからだと思っております。私事ですがスキー歴も 30 年です。今後も力を抜くことなく、病院での仕事に全力でシュプールを刻み込みます。

